わかる、伝わる、楽しむ iPadの活用

広島市立己斐上中学校 田中勤子

対象生徒 A さん

中学校3年生知的障がい特別支援学級に在籍

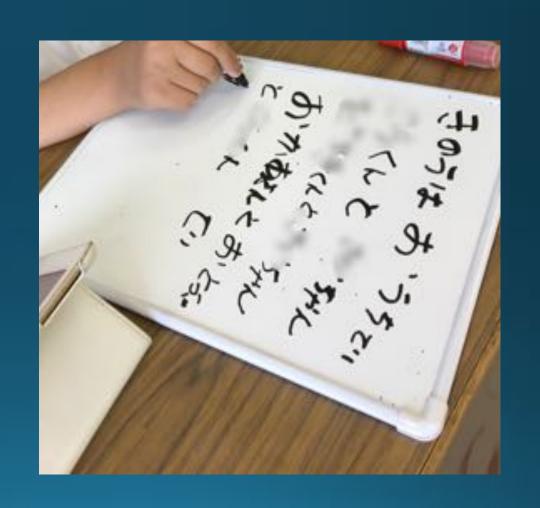
出会った時の彼は



中学2年生 1年時は本校に知的クラスがなかったため、 自・情クラスに在籍 保護者は、入学時、支援学校か支援学級か を悩まれ、支援学級を選ばれた

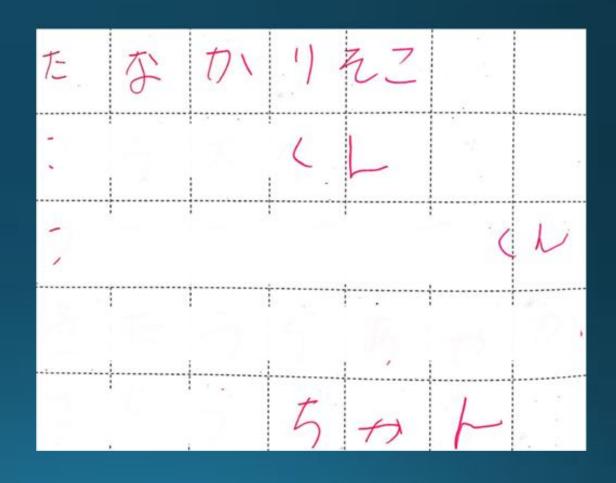
書きたいけど書けない

初めて会った日 ホワイトボードに みんなの名前を書いて 「書けるボク」 をアピール



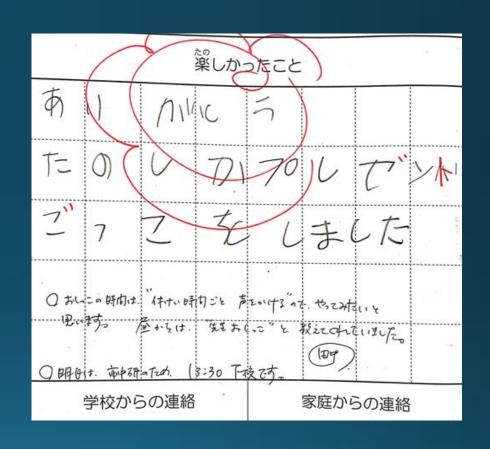
書きたいけど書けない

しかし 次の日もその次の日も 彼が書いたのは ほとんど 名前だけ



書きたいけど書けない

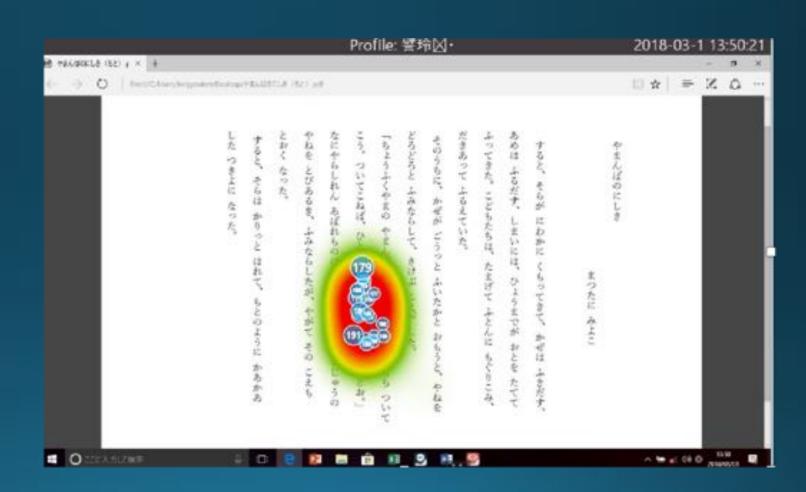
今まで、 文を書くときには先生が 聞き取って文にし、それを 視写してきた 自分で書くと…



読みたいけど読めない

絵本が大好きでに しなかるが、 しているが、 作り読話に… 違うお話に…

読字時の目の動きを見ると…



おしゃべりが大好きだけど

- ・構音に困難さが見られる(幼児音) シ→チ セ→テ レ→デ など
- ・会話になると不明瞭になる音がある
- ・語彙が少ない



状況がわからない人には 話の内容が伝わらない

最初の参観日には

お母さんと一緒に帰りたいとパニック

ご褒美が気になり 早くご褒美が欲しくて… お母さんの予定もわからず…



原因を考えると 音と文字の 目と手の つながり 協応 ワーキング 眼球運動 音韻認識 メモリ 数概念 視空間認知 衝動性 運動能力 流暢さ 語彙 巧緻性 構音 注意

- ・中学校の日課リズムへの不適応
- ・周囲との関わりの難しさ
- ・状況が把握できない
- インプット・アウト プットの難しさ

わからない できない 面白くない が膨らむ



混乱 行動の荒れ 無気力さ あきらめ

昨年度の取組

自己肯定感 自己有用感 モチベーションを上げる

学校生活に楽しみを

主体的に参加できる 活動を用意



「読む」「書く」ことの 困難さを軽減

1

読みたい気持ち 書きたい気持ち を支える

書きたい気持ちを支える

文字と音をつなぐ

入力フィードバックを使って、 一音一音確かめながら、 文字を入力

身近な言葉を集めて、発音練習のフラッシュカード作り





書きたい 気持ちを 支える

文字と音をつなぐ

大好きなクイズを 大好きな神楽でつくる



書きたい気持ちを支える

文を書くために

身の回りのことを文に 初めは話し伝えて 文にしてもらい視写



絵日記アプリで写真を見ながら 助詞は「DropTalk」で学習









話したい気持ちを支える

発音を意識させる

自分の発音をiPadが聞き取って くれるか自分で確認

アプリ「声シャッター」で、 iPadが音声認識できたら、 シャッターがおりる





読みたい気持ちを支える

音声読み上げで楽しむ

自分でアプリ内の絵本を 選んで、音声の読み上げを 聞きながら読む



主体的に参加できる活動を用意

ニュースのお届け

お知らせしたいことを 「今日のニュース」にして 「Keynote」にまとめ 大好きな先生に届ける









いのししがでます ちゅういしてください

主体的に参加できる活動を用意

神楽グッズづくり

大好きな神楽の画像を検索し神楽グッズを一緒に作って 楽しむ 「鬼の面」「衣装」「鬼の手」

など







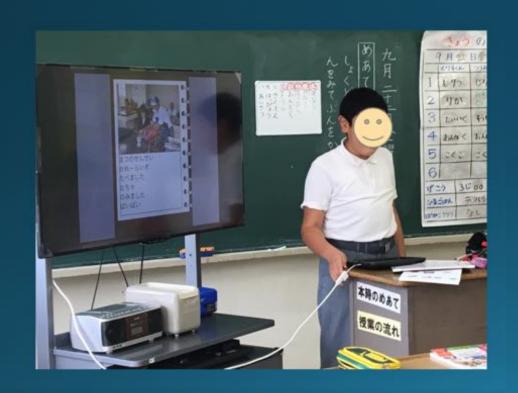
文を書くときに 自分でiPadを開いて まずはキーボード入力

書ける喜び

手紙を書く喜び伝わる喜び



「~がしたい」 「まだやりたい」という 言葉が聞かれるようになり





日常生活における 意欲の高まりが 見え始めた



しかし…

学校行事を楽しんで主体的に参加するのは難しく… 体育祭でも 合唱コンクールでも

集団には入れない…

家庭では

度々の「荒れ」 「神楽を見に行きたい」という思いがうまく伝わらず 「うーうー」と 声を出して暴れる



そして今年度の取り組み

3年生になった彼に必要なのは

卒業後の彼の生活を イメージすると







自営される家の仕事を手伝いながら お父さんとお母さんと弟と妹と 楽しく 穏やかに 生活できること



卒業後も家族とともに生活を楽しめる





情報を正し く把握する ための支援

自己肯定感 自己有用感 の醸成 状況が把握できる 見通しが持てる



家庭での荒れ混乱した状態





代替手段を用いて読み書き の力を高める



スケジュール を組み立てる 力を育てる



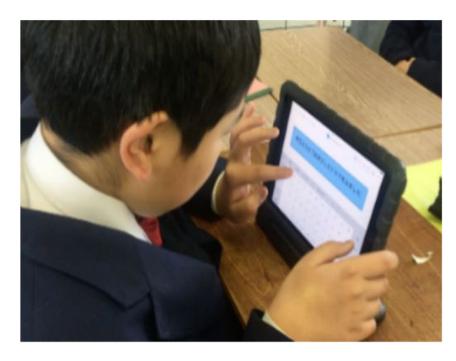
インプット・アウトプットの難しさ

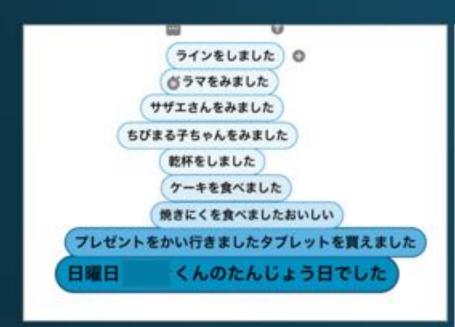
代替手段を 使って 読み書きの力 を高める

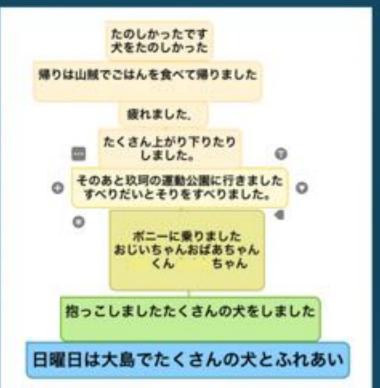
日記を書く

昨年度から継続して 書いている日記 「SimpleMind」が気に入って 使い始めた



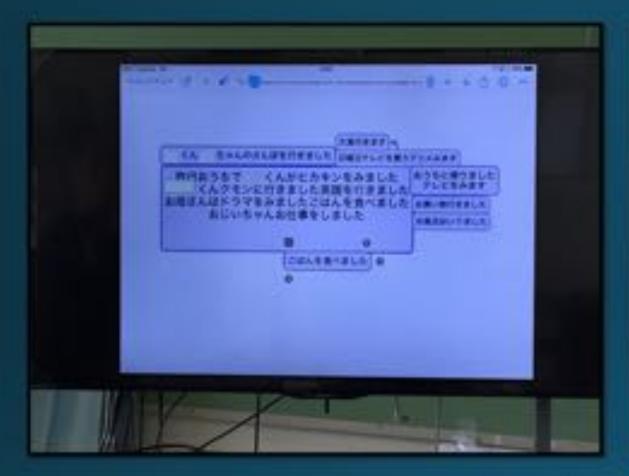






下から上に短文を積み上げる形で書くのがお気に入り ひらがな50音キーボードからフリック入力へ







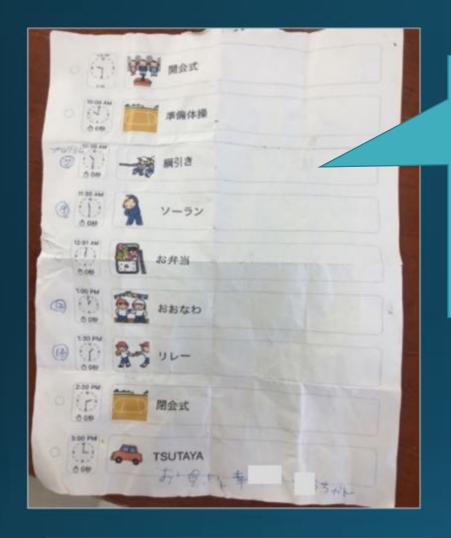
マインドマップをTV画面に映し出し それを繋いで読みながら発表 学級の仲間に伝わる喜びを持つ

スケジュール表の作成

しおりや配布プリントを 見て、必要な情報を見つ けながら、自分でタイム スケジュールを作る





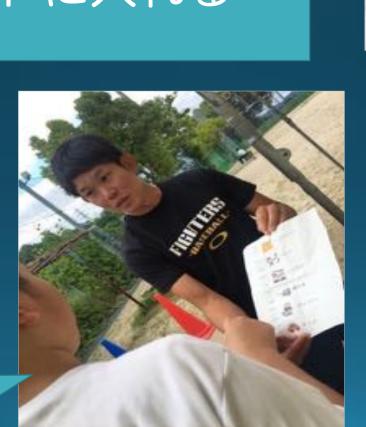


プリントアウ トしてポケッ トに入れる



終わってからの予 定を自分で書き足 して自分で納得

何度も手にして 担任と確認





メールのやり取り

☆学校の出来事を両親に連絡

「楽しかったこと」 「褒められたこと」 を両親に知らせる





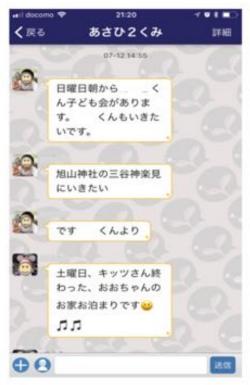
メールのやり取り

☆家族の情報の見える化

家族の予定を画面上で確認 残らない音声情報がそこを見れば わかる







メールのやり取り

☆家庭の様子を伝える



「PhotoMemes」 に自分で、月単位 の予定を書き込み 確認

カレンダーを利用して





自己肯定感 自己有用感 の醸成

文化祭で 神楽コーナー

文化祭の展示会場に 「神楽コーナー」を 作ることを企画

> 対象生徒が イニシャティブを 取ることができる活動









自己肯定感 自己有用感 の醸成

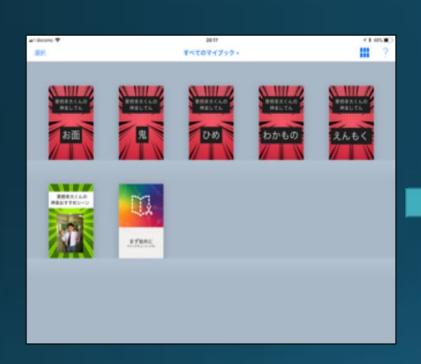
文化祭で神楽コーナー

まずは 神楽事典の作成から

「Book Creator」に カテゴリーごと 検索した画像を保存 「鬼」「姫」「若者」「お面」等















自己肯定感 自己有用感 の醸成

文化祭で 神楽コーナー おすすめシーンを動画編集

自分の好きな神楽の場面を 選んで伝える 「iMovie」で編集し 「Book Creator」に保存









くんの 神楽おすすめシーン





いよいよ神楽クイズ

自己肯定感自己有用感の酸成の酸成

文化祭で神楽コーナー

「Keynote」を使って スリーヒントクイズ を作り神楽コーナー でクイズ大会





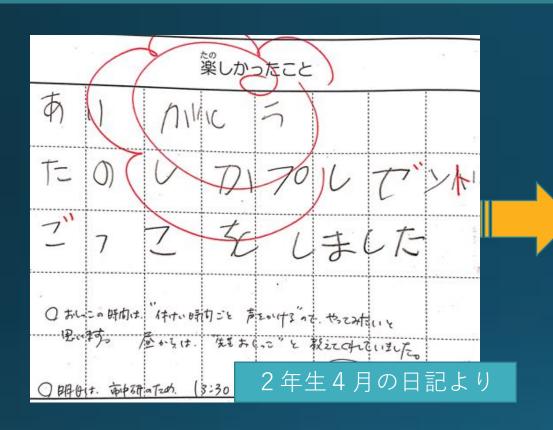




クイズ大会の様子



Aさんの変化~書ける自分に

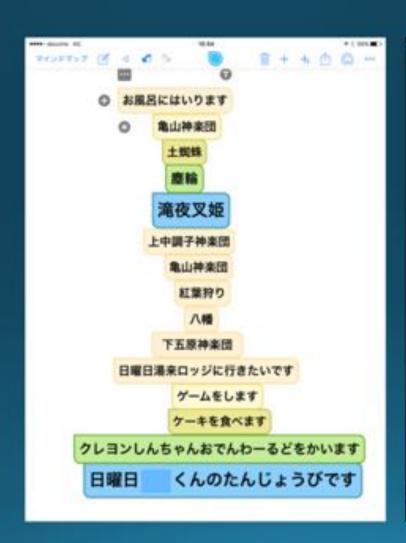


日記をたくさん書きたくてたまらない

楽しかったこと きのうはかうらでおかあさんはかりそのにりきまけた くしはねましてったいあいけりしましてこ おとうさんは複あれまにいきました。かなるではか ママはお茶をのみましたのよる あかあされよ くかん しまいろうのさんぽにいきまたごはるたかまたの 110110によはりります。テレビのをみましている。 ママドラマるみまいていかラマモトをみましたの クレヨンしんらかんなみますたりりすきていす。 アンノルンマンコチョニンニンジャーコます。 ドラマをみました。ひろしまなではをみます 3年生9月の日記より

Aさんの変化~自分の思いを書き始める

週末が近づくと iPadを開いて 自分の思いを 書き始めた





今年の体育祭

フィールドの真ん中で座り込む姿保護者席のお母さんが気になって競技に参加できない (昨年度)







自分で参加を決めた 競技に全て参加 入場門に走っていく姿 (今年度)

今年の文化祭

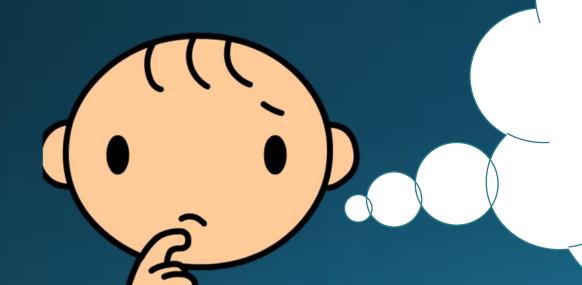
昨年は途中でステージを降りてしまった クラス合唱



交流クラスの仲間と 一緒に歌いきった

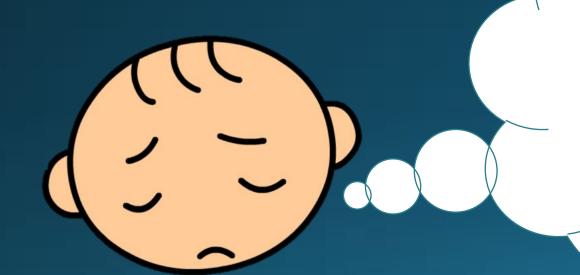


今年の文化祭開会式の前に



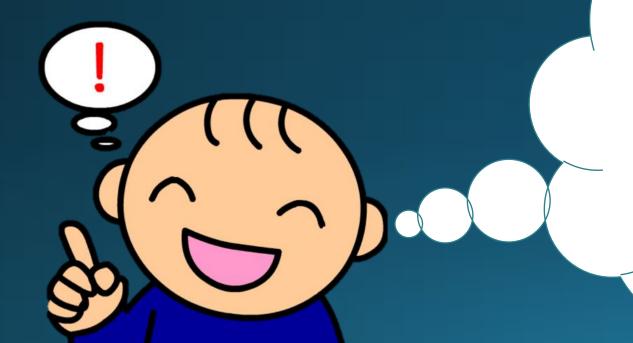
今日の夜、旭山神社で神楽があるらしい〇〇かんが見に行くって言ってた! ばくも行きたい!

今年の文化祭開会式の前に



でも、お母さんがい いって言うかなあ お祭り行ないと 文化祭も がんばれないよ

今年の文化祭開会式の前に



そうだ! あとで、メールで 母さんに 聞いてみよう! 全部終わったらね

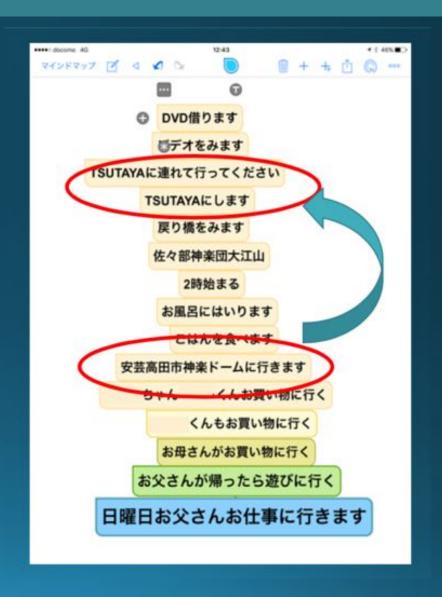
Aさんの変化~家族の予定を把握する

家族の予定を正しく キャッチすることで 家庭での自分勝手り 思い込みがなくなった



Aさんの変化~気持ちの切り替え

日曜日に父親の仕事が入っていることを理解しており、その情報と自分の「願い」とで葛藤しながらも折り合いをつけている



Aさんの変化~カレンダーの読み取り

「PhotoMemes」に 書き込み、月単位で 予定を把握できるよ うになり、教室の大 きなカレンダーにも 書き込んで、仲間に も伝えるようになっ た



Aさんの成長をまとめてみると

キーボード入力を 自分の代替手段として 活用できるようになった



書きたい気持ち 伝えたい気持ちが 膨らんだ 家族の情報の 把握が できるように なった

自分の思いを 伝えられるよ うになった





自分の気持ちをコントロールして 家族の予定に合わせることができる

「神楽クイズ」など、主体的に取り組める活動を楽しんだ



「得意」を膨らませることで、 自己肯定感や自己有用感が 高まった

いつのまにか…

「頑張ったらどこかに行ける」 「頑張ったら何か買ってもらえる」 そんな約束がなくても 頑張れるようになったAさん

ご褒美がなくても…

外発的な動機づけが必要



活動を楽しみたから

残る!

冬休み前の懇談で

お母さんのコメント



家で荒れる ことがなく なりました。 家でも頑張ってくれています。家族のことをよく 気遣ってくれるようにな りました。

そして これから…

次のステージでも

これがあれば 伝わる!

これがあればわかる!



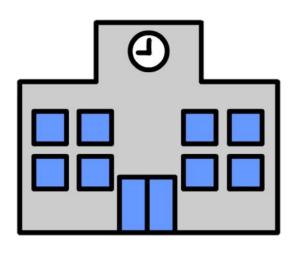
これを使って 楽しめる!

進路先への支援の引き継ぎ

特別支援学校高等部に進学予定

身につけた代替手段が 中学校だけの出来事に ならないように しっかりと引き継ぐ





自分で余暇を 組み立てられるように

自分で情報を入手し 理解し 折り合いをつける

一人でできるように









モチベーションを上げるためには 楽しみが一つでも多い方がいい 「今夜はビールが飲める」 大人にも外発的な動機づけは必要

しかし それぞれの活動そのものを 楽しく感じられるに越したことはない

> 喜びをたくさん感じながら 生きてほしい



ご清聴ありがとうございました。